

行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	カネミ油症地域状況把握調査事業	担当部局庁	食品安全部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度	担当課室	企画情報課	吉岡 てつを			
会計区分	一般会計	施策名	IV-4-1 食品等の安全性を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成20年度に実施した油症患者健康実態調査の結果及び本調査の結果と、油症研究班においてこれまでの研究結果等と併せて詳細な解析を行うことで、油症研究の加速的推進を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成20年度に油症患者健康実態調査を実施し、平成21年度に当該調査の解析を実施。平成22年度においては、「油症認定患者」と「一般住民」との発病等を比較するための調査方法等を検討のうえ調査を実施。本調査を実施することにより、「一般住民」の生活習慣、発病状況等の結果を把握し、「油症認定患者」と比較することにより、効果的・効率的な研究の推進を図った。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算			33		
		繰越し等			▲ 31		
		計			2		
	執行額			0.3			
	執行率 (%)			10.3%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	油症患者等の健康実態を調査することにより、効果的・効率的に研究を推進することが目標のため、定量的に示すことは困難である。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	油症患者等の健康実態を調査することにより、効果的・効率的に研究を推進するため、定量的に示すことは困難である。	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	( ) ( )
単位当たりコスト	— (円/ )		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
		0	0				
	計	0	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年3月31日に健康実態調査結果を公表し、当該結果を受け、油症研究班においてこれまでの検査結果等と併せて詳細な解析を行うこととされたが、多くの科学的見地を蓄積している油症研究班において、研究、調査等を一体化させて実施することが効率的かつ効果的であるととも、継続的な研究の実施に繋がるため、平成22年度に実施を予定していた当該調査については、厚生労働科学研究費補助金の範囲内で実施することとなった。		
予算監視・効率化チームの所見			
	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	-		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省 0.3百万円

・全国油症治療研究班油症対策委員会との打合せ等

A 事務費  
0.3百万円

職員旅費

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.事務費			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	百万円以上の案件はなし				
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	JTB首都圏	出張旅費として(代理店請求分)	0.07		
2	JTB首都圏	出張旅費として(代理店請求分)	0.07		
3	JTB首都圏	出張旅費として(代理店請求分)	0.06		
4	JTB首都圏	出張旅費として(代理店請求分)	0.04		
5	職員A	出張旅費として	0.01		
6	職員B	出張旅費として	0.01		
7	職員C	出張旅費として	0.01		
8	職員D	出張旅費として	0.004		
9	職員E	出張旅費として	0.004		
10					